

平成29年度 公開講座（短期課程）

担当科名	機械システム系メカトロニクス科
担当者名	山口俊憲
講座名	ものづくりカイゼンセミナー(3)人間工学・安全工学・保全 ～モノとコトの設計による事故・失敗の未然防止～
実施 日 時	① 平成29年8月23日（水） 18:00～21:00
	② 平成29年8月30日（水） 18:00～21:00
	③ 平成29年9月 6日（水） 18:00～21:00
	④ 平成29年9月13日（水） 18:00～21:00
	⑤ 平成29年9月20日（水） 18:00～21:00（計15時間）
募集定員	6人（申込者多数の場合最大12名程度まで）
募 集 対 象	対象職種：不問(講座名はものづくりカイゼンとなっておりますが、事務系・技術系を問わず様々な業種・職種の方が参加可能)
	受講に必要なレベル：不問（受講生の状況・希望に応じて内容を調整）
注 意 点	ものづくりカイゼンセミナー(1)～(6)は企業などとの連携を通じて実際に現場カイゼンに取り組む同一講師が全て担当しています。講座(1)～(6)の全てを受講することで、ものづくりカイゼンに必要な知識を体系的に修得できますが、各講座を単独で受講しても理解できるような工夫をしています。例年、一つの講座を受講される方、全て受講される方、数年かけて全てを受講される方がいらっしゃいます。また、このセミナーは社会人を対象とした1年課程の「産業技術専攻科ものづくり改善コース」とも一部連携しています。現場の課題解決に具体的に取組みたい方は専攻科の活用もご検討ください。
講 座 内 容	人や組織を起因とする事故・損失が多く発生している。これらを防ぐためには、人的過誤を減らすと共に過誤を事故・損失につなげない仕組みの構築が必要となります。このためには、現場の作業員から管理者に至る全ての人々が「なぜ」を考えることが必要です。本講座では、講座の担当者が生産現場の様々な実践現場で得た知識・技術に基づき、「なぜ」を考える習慣を身に付ける方法と過誤を事故・損失につなげない組織作りについて学びます。また、4M-4Eマトリックス表、mSHELモデルなどのヒューマンファクタ分析の手法、自動車産業などにおいて実施されているFMEAなどの信頼性解析の手法や設備保全の進め方について学びます。この講座においても、担当講師が様々な分野で取り組んできた事例を紹介します。
目 標	受講者のレベルに応じて、現場においてヒューマンエラー分析の手法を活用できる。あるいは、手法活用の指導ができる。

履修項目	①人間工学とは ②失敗と事故との関係 ③ヒューマンエラーと組織エラー ④分析手法と対策の立て方 ⑤事例分析/事例紹介 ⑥FMEA/FTA ⑦保全 ⑧レジリエンスな組織作り					
使用装置 ソフト・ 図書等	特になし					
受講費用	受講料：6,900円（15時間コース） ----- 自己負担： 円（テキスト： 円・材料費： 円）					
講座費用	報償費	円	印刷製本費	円	材料費	円
	費用弁償	円	消耗品費	円	通信運搬費	円
	普通旅費	円	使用賃借料	円		
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 製造業の方の申し込みが多いため、講座名を「ものづくりカイゼン」と改めた。 ・ 企業訪問などを通して保全に関連する課題が見受けられた。また、受講生からも保全に関する質問があったため、講座内容に保全に関連する内容を取り入れるとともに、講座名も「保全」を加えた。 ・ 例年、定員を超える申し込みを頂いているため、最大受け入れ人数を記載した。 ・ 注意点において、ものづくりカイゼンセミナーの受講方法や受講生の受講例、産業技術専攻科の広報を目的にこのセミナーとの連携について記載した。 ・ 保全に関する内容を付加した。 ・ この講座を受講することで、産業技術専攻科ものづくり改善コースの「人間信頼性工学」の受講を一部免除する。 					